

事務事業名	県管理道路整備事業	所属部	建設部	所属課	建設事業課
政策名	総合計画体系 (II) 環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	国県事業G	課長名	森田 一
施策名	(08) 高速・広域交通網の整備	担当者名	松井 佳弓	電話番号 (内線)	0854-40-1062
基本事業名	(021) 国道・県道の整備促進	予算科目	会計 款 項 目 中事業	国道・県道整備事業負担金	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	県道の改良事業・交通安全事業の調整等 ・県、各総合センター事業管理課と連携し、地元調整(要望、測 試、用地交渉、契約、工事、通行規制住民周知等)を行う。 ・事業負担金の会計事務	県道整備に関しては合併以前より県と連携を持っている。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	事業費	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体計画
県事業負担金 幹線改良: 事業費の10% 生活関連: 事業費の15% 都計事業: 事業費の7.5%	国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計 (A) 千円							
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	正規職員従事人数 人 延べ業務時間 時間 人件費計 (B) 千円 トータルコスト(A)+(B) 千円							

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 県道改良事業の調整(県・地元) 事業負担金の会計事務 24年度計画(24年度に計画している主な活動) 県道改良事業の調整(県・地元) 事業負担金の会計事務	⑤ 活動指標							
		ア 地元協議・調整	回	40	48	50	50		
		イ 関係機関協議・調整	回	40	48	50	50		
		ウ							
		エ							
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	県道 県民・道路利用者	⑥ 対象指標							
		ア 市内県道路線数	本	26	26	27	27		
		イ							
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	県道整備による利便性確保(移動時間短縮、移動圏域拡大) 道路交通の安全性確保	ア 事業実施箇所数	箇所	13	20	24	23		
		イ							
		ウ							
上位目的	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	安全で利便性の高い道路交通網を整備する	ア 主要地方道車幅5.5m以上改良率	%	75.4	76.8	集計中			
		イ 一般県道規格改良率	%	57.7	58.8	集計中			

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
県の道路整備方針として、継続路線を早期完了させ、新規工区についても早期に完了の見込みのあるものについて優先して事業実施されており、事業実施箇所も多くなってきている。	事業負担金については、合併推進債・臨道債を財源に充当することで、雲南市の負担を軽減した。	中山間地域における幹線道路の整備に対する要望は強い。特に自動車依存率の高い中山間地域においては、住民の日常及び社会生活の安定・向上に資するものであり、定住対策の面からも重要である。

事務事業名	県管理道路整備事業	所属部	建設部	所属課	建設事業課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 市と県が協力し合い事業を実施することにより、良好な道路状態を保ち、道路利用者である県民が安全で快適に道路が利用できる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 道路網整備は県だけではなく、国、県、市町村が協力しながら計画的に進めるものである。本事務事業は、県が管理する幹線道路の整備であり、法律上からも県の責任において実施する必要がある。県当事業を地域住民と身近な接点を持つ市職員が連絡調整を行い事業の円滑な推進を図る。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 道路利用者が安全で快適に道路利用できることを目的としている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 自動車依存率の高い島根県においては中山間地域における地域間交流の強化・拡大に直結するものであり、手段として妥当と考える。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 中山間地域に居住する県民の日常及び社会生活の安定・向上が期待できなくなることから、与える影響が大きいと考える。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 道路整備は、法律上道路管理者が実施するように規定されている。本活動は県が管理する道路の整備であり、県が行う必要がある
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 県が管理する道路の整備は、管理者である県が行うことが最も効率的・効果的である。また、他の実施主体は考えられない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 県が管理する道路の整備は、管理者である県が行うことが最も効率的・効果的である。また、他の実施主体は考えられない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	スムースな事業進捗となるよう、市・地元の協力体制を万全に整える必要である。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
市から事業負担金の支出を伴うため、この予算確保に努める必要がある。市が改良事業を県に要望している手前、財政的な準備はすべきと考える。																							